

令和7年度

上尾市立小・中学校学力調査結果

(小学校:令和7年12月16日実施 中学校:令和8年1月9日実施)



《上尾市webサイト掲載用》

上尾市教育委員会

目 次

ページ

I 学力調査実施の概要	1
1 調査の趣旨	
2 調査対象	
3 調査実施日	
4 調査教科及び調査時間	
5 使用検査紙	
6 調査人数	
II 学力調査結果の概要(経年比較)	2
1 小学校(上尾市全体)	
(1) 同学年比較	
(2) 同グループ比較	
2 中学校(上尾市全体)	
(1) 同学年比較	
(2) 同グループ比較	
3 小学校(上尾市全体) 【グラフ】	
(1) 同学年比較	
(2) 同グループ比較	
4 中学校(上尾市全体) 【グラフ】	
(1) 同学年比較	
(2) 同グループ比較	
III 考察	4
1 標準スコアの結果から	
(1) 小学校	
(2) 中学校	
2 各問題の内容ごとの正答率の結果から	
(1) 小学校	
(2) 中学校	
IV まとめ	13

I 学力調査実施の概要

1 調査の趣旨

本市児童生徒の学力の実態を把握するとともに、課題を明らかにして学習指導の改善を図ることにより、確かな学力を育成する。

2 調査対象

小学校 第2～6学年

中学校 第1～2学年

3 調査実施日

小学校：令和7年12月16日（火）

中学校：令和8年 1月 9日（金）

4 調査教科及び調査時間

小学校：第2～6学年 国語（40分）、算数（40分）

中学校：第1～2学年 国語（45分）、数学（45分）、英語（45分）

※出題範囲は、当該学年で学習した内容

5 使用検査紙

「標準学力調査」（東京書籍株式会社）

6 調査人数

	国 語		算数・数学		英 語	
	調査 人数	実施率 [%]	調査 人数	実施率 [%]	調査 人数	実施率 [%]
小学校	8,841	93.0	8,839	92.9	—	—
中学校	3,113	92.0	3,120	92.2	3,113	92.0
合 計	11,954	92.5	11,959	92.6	3,113	92.0

Ⅱ 学力調査結果の概要(経年比較)

※全国値の正答率を50.0とした場合の換算値

1 小学校(上尾市全体)

(1) 同学年比較

	全 体		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	国語	算数										
令和7年度	49.1	48.5	48.3	48.6	48.3	48.1	50.0	49.5	51.1	49.7	48.0	47.6
令和6年度	49.4	49.0	49.7	50.6	50.3	48.5	49.8	49.5	48.8	48.3	48.4	48.2
本年度増減	-0.3	-0.5	-1.4	-2.0	-2.0	-0.4	0.2	0.0	2.3	1.4	-0.4	-0.6

(2) 同グループ比較

	第2学年→第3学年		第3学年→第4学年		第4学年→第5学年		第5学年→第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和7年度	48.3	48.1	50.0	49.5	51.1	49.7	48.0	47.6
令和6年度	49.7	50.6	50.3	48.5	49.8	49.5	48.8	48.3
本年度増減	-1.4	-2.5	-0.3	1.0	1.3	0.2	-0.8	-0.7

2 中学校(上尾市全体)

(1) 同学年比較

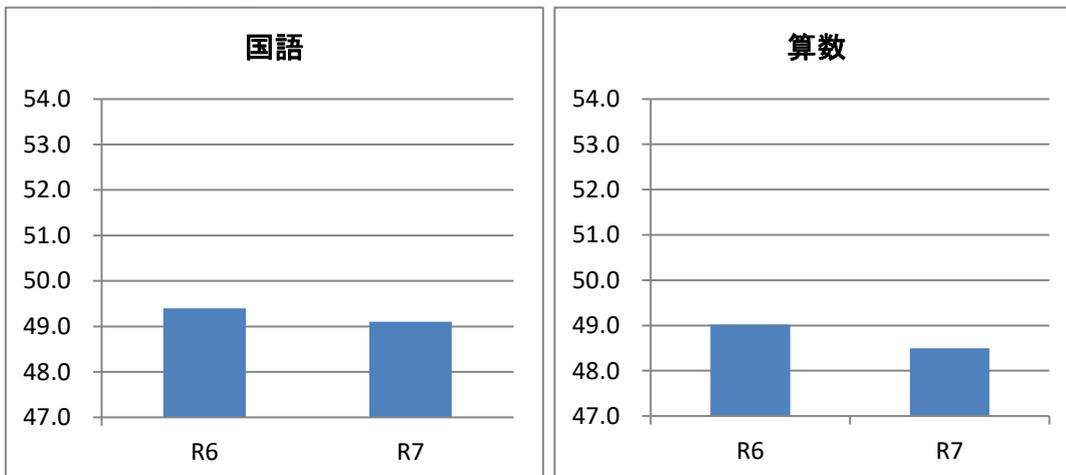
	全 体			第1学年			第2学年		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学	英語
令和7年度	50.7	51.4	52	50.7	51.2	51.8	50.7	51.6	52.2
令和6年度	51.4	51.3	50.1	51.4	50.7	50.2	51.3	51.9	50.0
本年度増減	-0.6	0.1	1.9	-0.7	0.5	1.6	-0.6	-0.3	2.2

(2) 同グループ比較

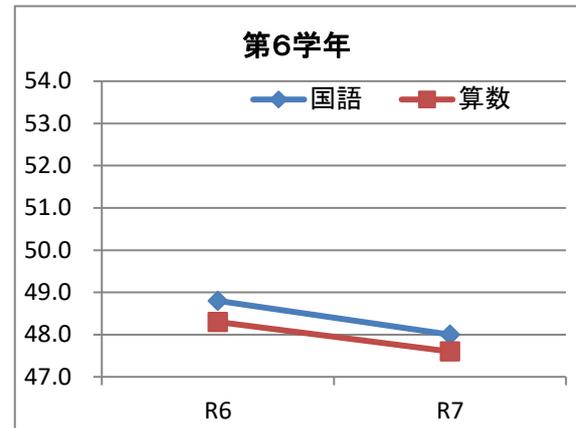
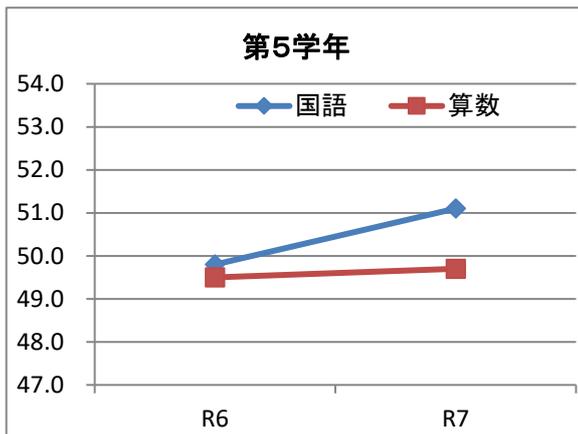
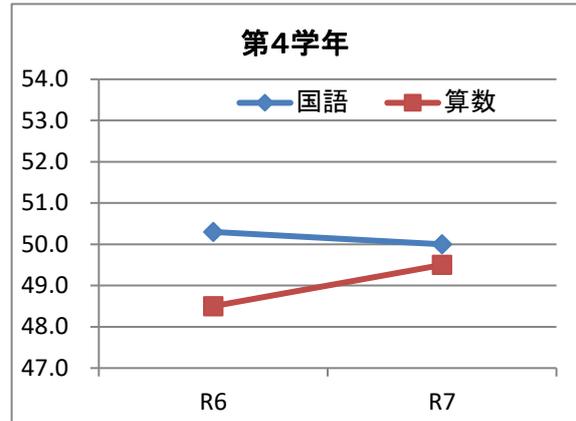
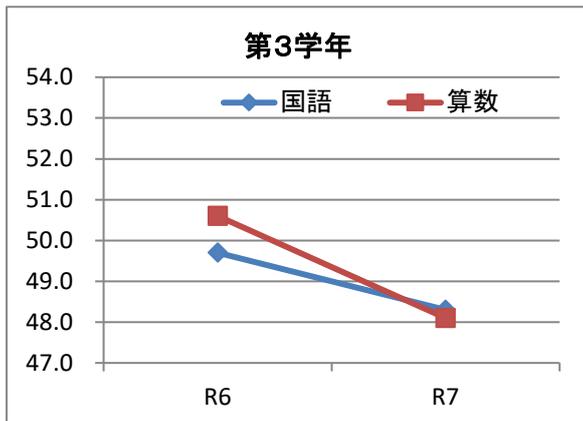
	第1学年→第2学年		
	国語	数学	英語
令和7年度	50.7	51.6	52.2
令和6年度	51.4	50.7	50.2
本年度増減	-0.7	0.9	2.0

3 小学校(上尾市全体)

(1) 同学年比較

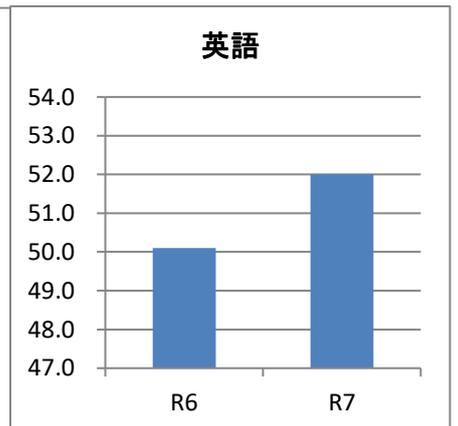
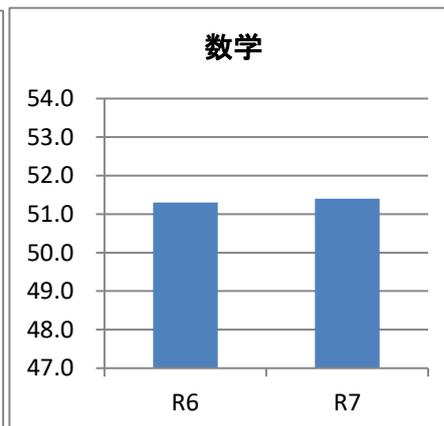
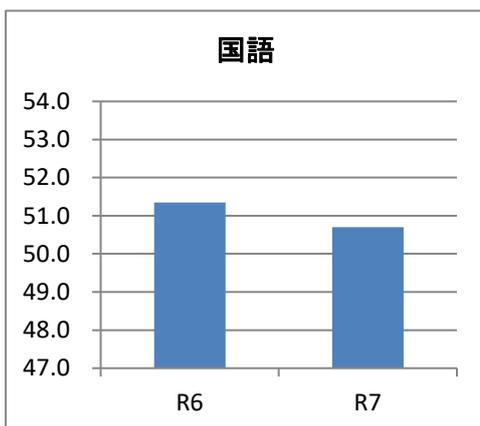


(2) 同グループ比較

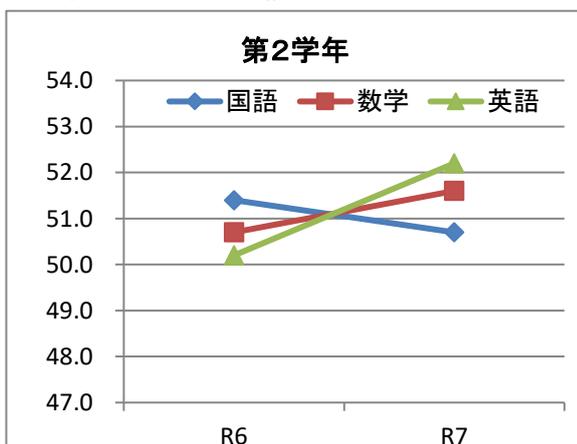


4 中学校（上尾市全体）

(1) 同学年比較



(2) 同グループ比較



IV 考察

1 標準スコアの結果から ※標準スコアは全国値の正答率を50としたときの換算値

(1) 小学校

ア 同学年比較

	全 体		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	国語	算数										
令和7年度	49.1	48.5	48.3	48.6	48.3	48.1	50.0	49.5	51.1	49.7	48.0	47.6
令和6年度	49.4	49.0	49.7	50.6	50.3	48.5	49.8	49.5	48.8	48.3	48.4	48.2
本年度増減	-0.3	-0.5	-1.4	-2.0	-2.0	-0.4	0.2	0.0	2.3	1.4	-0.4	-0.6

イ 同グループ比較

	第2学年→第3学年		第3学年→第4学年		第4学年→第5学年		第5学年→第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和7年度	48.3	48.1	50.0	49.5	51.1	49.7	48.0	47.6
令和6年度	49.7	50.6	50.3	48.5	49.8	49.5	48.8	48.3
本年度増減	-1.4	-2.5	-0.3	1.0	1.3	0.2	-0.8	-0.7

同学年比較では第4学年の国語、第5学年の国語と算数において、昨年度を上回った。また、同グループ比較では、第4学年の算数、第5学年の国語と算数において伸びが見られた。なお、第2学年の算数、第3学年の国語では、標準スコアが50を上回った。昨年度よりも数値を伸ばした学年、教科については、学力向上プランや学力調査結果等を活用するなどして授業改善、学習内容の習熟を図った取組が結果に表れたと考えられる。

(2) 中学校

ア 同学年比較

	全 体			第1学年			第2学年		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学	英語
令和7年度	50.7	51.4	52	50.7	51.2	51.8	50.7	51.6	52.2
令和6年度	51.4	51.3	50.1	51.4	50.7	50.2	51.3	51.9	50.0
本年度増減	-0.6	0.1	1.9	-0.7	0.5	1.6	-0.6	-0.3	2.2

イ 同グループ比較

	第1学年→第2学年		
	国語	数学	英語
令和7年度	50.7	51.6	52.2
令和6年度	51.4	50.7	50.2
本年度増減	-0.7	0.9	2.0

同学年比較では第1学年の数学と英語、第2学年の英語において、昨年度の結果を上回った。また、同グループ比較では、数学と英語において伸びが見られた。なお、標準スコアについては、すべての学年、教科において標準スコアが50以上であり、基礎的・基本的な学力は定着していると考えられる。

2 各問題の内容ごとの正答率の結果から

(1) 小学校

ア 第2学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
話を聞きとる	話し手が知らせたいことを落とさないように聞いている。	86.6	
	話し手の話に関心をもち、質問している。	79.5	
かん字を読む	第2学年に相当されている漢字を正しく読んでいる。	70.3	
		88.4	
かん字を書く	第1学年に相当されている漢字を正しく書いている。	96.5	
		94.6	
ことばの学しゅう	片仮名を正しく書いている。	91.0	
	漢字の正しい筆順を理解している。	95.6	
ものがたりを読みとる	言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。	79.5	
	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	69.7	
せつ明文を読みとる	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	77.8	
	場面の様子に注目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	68.2	
作ったものについて話す	相手の伝わるように、事柄の順序を考えて話している。	84.7	
	相手の伝わるように、経験したことに基づいて話している。	28.7	
文しょうを書く	伝えたいことを明確にしている。	79.1	
	内容のまとまりが分かるように文章を書いている。	71.2	

場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体をとらえることに課題がある。指導にあたっては、児童の発達や学習の状況に応じて、本や作品の題名、場面の様子を描いた挿絵なども手掛かりにしながら、誰が、どうして、どうなったかなどを把握することを繰り返して、物語全体の内容を正確に理解することが重要である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
1000までの数	命数法で書かれた数を記数法で表すことができる。	83.5	
	1000までの数の表し方を理解している。	86.5	
1000までの数	数の相対的な大きさについて理解している。	72.9	
	3位数について、十進位取り記数法による数の表し方を理解している。	91.0	
1000までの数	数直線の1めもりの大きさを理解している。	42.8	
	不等号を使った数の大小の表し方を理解している。	81.7	
かけ算	2の段の九九ができる。	97.7	
	5の段の九九ができる。	95.8	
たし算	2けた+2けた=2けた(繰り上がりなし)の計算ができる。	92.0	
	3けた+2けた=3けた(繰り上がり1回)の計算ができる。	77.3	
ひき算	3けた-2けた=2けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	65.8	
	3けた-1けた=3けた(繰り下がり1回)の計算ができる。	73.9	
たし算	10をもとにして、(何十)+(何十)の計算をしている。	42.4	
	文章問題(連続量の倍)を解くための乗法の式を選ぶことができる。	79.2	
ひき算	文章問題(求小の場面)を解くための減法の式を選ぶことができる。	84.8	
	文章問題(乗数先出)を解くために、乗法九九を直用して立式している。	80.9	
かけ算	文章問題を解くために立式した乗法九九を適用した式から、正しい答えを求めることができる。	75.2	
	結合法則を用いた計算のしかたを説明している。	28.3	
たし算	減法の文章問題(求残の場面)を表した図を理解している。	40.2	
	減法の文章問題(求残の場面)を表した図から立式ができる。	85.3	
ひき算	立式した減法の式から、正しい答えを求めることができる。	69.0	
	バスに乗った時刻と乗っていた時間から、バスを降りた時刻を求めている。	67.0	
時ごとと時間	午前、午後、正午について理解している。	85.8	
	ものさしの目盛りの読み取り方を理解している。	71.9	
長さ かさ	長さも減法の計算ができることを理解し、長さの差を求めることができる。	68.7	
	1L=10dLであることを理解し、リットルマスに示されたかさをdLで表すことができる。	59.1	
長さ かさ	かさの単位の関係を理解し、大小を判断することができる。	35.4	
	身近にあるもののかさに使われる適切な単位を理解している。	39.1	
時ごとと時間	示された時計から時間を読み取り、どちらがどれだけ長いかを求めている。	49.6	
	条件にあてはまるものを選び、選んだ理由を説明している。	21.7	
長さ かさ	長さが異なるものを使った比べ方が間違っている理由を選んで説明している。	56.5	
	グラフを読み取って、表に表すことができる。	74.5	
ひょうやグラフ	グラフや表から人数がいちばん多い教科を読み取ることができる。	76.5	

計算の方法や、考えの根拠を説明することに課題がある。指導にあたっては、単に問題を解決することのみならず、問題場面を数や式、言葉、図などと関連付けながら説明する活動を充実させる必要がある。また、問題の解決過程を振り返り、その根拠を図や式などをもとに説明することも重要である。

イ 第3学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
話し合いの内ようを聞き取る	話し手が伝えたいことの内容の中心を捉えている。	92.7	
	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。	70.3	
	司会の役割を果たしながら話し合い、意見の相違点に着目している。	68.9	
漢字を読む	第3学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	96.4	
		97.1	
漢字を書く	第2学年に配当されている漢字を正しく書いている。	96.0	
		66.0	
言葉の学習	漢字の音読みと訓読みについて理解している。	47.1	
	様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	91.8	
	ローマ字で表記されたものを正しく読んでいる。	80.9	
	国語辞典の使い方を理解している。	74.9	
物語の内ようを読み取る	登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。	85.5	
	文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。	76.6	
せつ明文の内ようを読み取る	叙述を基に段落の内容を捉えている。	47.5	
	叙述を基に文章の内容を捉えている。	72.7	
せつ明する文章を書く	中心となる語や文を見付けて要約している。	75.6	
	集めた材料を適切に整理している。	61.9	
文章を書く	考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いている。	76.5	
	相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。	55.1	
	書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えている。	57.7	
	内容の中心を明確にし、自分の考えを書いている。	53.0	
	自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書いている。	73.8	
		73.2	

文章を読んで感じたことや考えたことを共有することに課題がある。指導にあたっては、文章の受け取り方が個々の経験や着眼点によって異なることを理解させるとともに、互いの考えを共有し、自分とは違う他者の視点にある良さに気付かせることが重要である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
10000より大きい数	千万の位までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解している。	78.7	
	数の相対的な大きさについて理解している。	75.2	
10000より大きい数	100倍した数を理解している。	72.9	
	数直線に示された数の読み取り方を理解している。	86.9	
かけ算	$2けた \times 1けた = 3けた$ の計算ができる。	70.2	
	$3けた \times 1けた = 4けた$ の計算ができる。	66.3	
わり算	$2けた \div 1けた = 1けた$ (余りなし)の計算ができる。	89.2	
	$2けた \div 1けた = 1けた$ (余りあり)の計算ができる。	76.8	
たし算・ひき算	$3けた + 3けた = 3けた$ (繰り上がり2回)の計算ができる。	82.0	
	$4けた - 3けた = 3けた$ (波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	65.7	
かけ算	乗法のきまり(分配法則)を理解している。	76.3	
かけ算	文章問題を解くための乗法の式を選ぶことができる。	77.1	
わり算	文章問題を解くために除法の立式をしている。	75.0	
わり算	文章問題を解くために立式した除法の式から、あまりの処理をして、正しい答えを求めている。	50.1	
わり算	除法の式に合った文章問題(18÷6の場面)を選ぶことができる。	80.2	
かけ算	30×5 の計算のしかたを、10の何個分かをもとに説明している。	59.9	
わり算	余りのある除法の答えの確かめ方を説明している。	33.9	
かけ算	けんさんの考えに合うように、()のついた3つの数の乗法の式を選んでる。	46.7	
円と球	円の中心とコンパスの使い方を理解している。	83.5	
円と球	球の切り口が円になることを理解している。	86.2	
円と球	コンパスで同じ長さを測りとることができることを理解し、長さを比べることができる。	35.4	
時ごとと時間	時間の単位の関係を理解し、分と秒を秒に直すことができる。	82.6	
	身近にあることの時間を推察して、適切な単位を使うことができる。	69.7	
長さ	道のりの意味を理解し、地図から道のりを読み取って、計算で道のりを求めることができる。	63.6	
	身近にあるものの長さを推察して、適切な単位を使うことができる。	84.2	
時ごとと時間	ある時刻から一定時間後の時刻を求めることができる。	55.0	
わり算	34本のところをこし全部を6本ずつかに並べるとき、かこがいくつ必要かを説明している。	35.7	
表とまうグラフ	棒グラフを読み取ることができる。	58.7	
	棒グラフから、人数の違いを求めることができる。	84.6	
		52.3	

図形を構成する要素に着目して、図形を考察することに課題がある。第3学年の図形の指導にあたっては、辺の長さの相等を意識しながら図形を考察したり、構成したりすることが重要である。特にコンパスの指導にあたっては、単に円をかくだけではなく、等しい長さを測り取ったり、移したりすることができる道具で、長さを比べたりする場面で活用できることを理解させることが大切である。

ウ 第4学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
話し合いの内 ようを聞き取る	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。	90.9	
	目的や進め方を確認し、司会の役割を果たしながら話し合っている。	77.7	
	話し手が伝えたいことの中心を捉えている。	86.4	
漢字を読む	第4学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	94.2	
		87.7	
		96.8	
漢字を書く	第3学年に配当されている漢字を正しく書いている。	75.9	
		57.2	
		72.6	
言葉の学習	主語と述語との関係について理解している。	66.5	
	連体修飾語について理解している。	60.9	
	ことわざの意味を知り、正しく使っている。	78.6	
	漢字辞典の使い方を理解している。	64.7	
	行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	92.4	
物語の内よう を読み取る	登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。	78.5	
		76.8	
	文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。	34.5	
説明文の内よう を読み取る	叙述を基に文章の内容を捉えている。	67.6	
	叙述を基に段落相互の関係を捉えている。	57.4	
	中心となる語や文を見付けて要約している。	67.8	
活動をふり 返って話し合う	話し手が伝えたいことの中心を捉えている。	40.9	
	相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら話している。	25.4	
	相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。	61.3	
文章を書く	書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えている。	58.2	
	自分の考えを明確にして文章を書いている。	84.2	
	自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書いている。	76.0	

相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら話すことに課題がある。指導にあたっては、相手が知らないことについて、相手のことを踏まえた上で理由や事例を選ぶなどして丁寧に理由付けをしたり、相手にとって理解しやすい事例を挙げたりすることが重要である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
億と兆・がい数の の表し方	命数法で書かれた数の記数法での表し方を理解している。	73.9	
	10分の1にした数を求めることができる。	79.9	
小数	数直線の上に示された大きい数の読み取り方を理解している。	83.4	
	小数の大小比較ができる。	79.7	
億と兆・がい数の の表し方	小数で表している重さの単位換算ができる。	25.8	
	上から2けたの概数の表し方を理解している。	63.3	
計算のきまり	概数に対応する数の範囲を理解している。	68.9	
	計算のきまりを使って、()のある式の計算ができる。	78.3	
わり算	3けた÷1けた=2けた(余りあり)の計算ができる。	64.7	
	3けた÷2けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	50.3	
小数	小数第一位+小数第二位の計算ができる。	79.4	
	小数第二位-小数第二位の計算ができる。	59.4	
わり算	文章問題を解くために立てた2けた÷1けた=2けた(余りあり)の式と計算結果から、余りの処理をして正しい答えを求めることができる。	78.5	
	示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、小数の加法を整数の加法に直している。	73.2	
簡単な場合に ついての割合	基準量を求める除法の文章問題を表した図を選ぶことができる。	76.0	
	基準量を求める除法の文章問題に合った立式ができる。	63.8	
簡単な場合に 計算のきまり	2つの数量の関係を、もとの長さの何倍になったかを考えて比んでいる。	53.8	
	計算のきまりを理解し、式に合った文章問題を選んでいく。	61.4	
計算のきまり	分配法則を用いて計算している。	44.3	
	分度器の中に示された角の大きさの読み取り方を理解している。	72.4	
角の大きさ	角の性質がわかり、2直線が交わってできる角の大きさを計算で求めている。	62.6	
	示された考えをもとに、180°より大きい角の大きさを求めている。	62.0	
垂直・平行と四 角形	平行な直線の性質を理解している。	62.6	
	四角形の対角線の性質を理解している。	68.3	
垂直・平行と四角形	ひし形の作図ができる。	69.9	
	折れ線グラフの縦軸が何を表しているかを理解している。	82.0	
折れ線グラフ	折れ線グラフを正しく読み取っている。	57.9	
	折れ線グラフをもとに、目的にあう月を求めている。	45.2	
わり算	除法の性質を理解し、工夫した計算のしかたを説明している。	29.2	

除法に関して成り立つ性質の理解に課題がある。指導にあたっては、商が同じになる除法の式を幾つもつくる活動を取り入れるなど、除法に関して成り立つ性質を帰納的に考え、性質として言葉でまとめていくことが大切である。また、見出した性質を計算に活用し、その数理的処理のよさに気付かせていくことも重要である。

エ 第5学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 □誤答計 ■無解答
話し合いの内容を聞き取る	話し手の目的に応じて、話の内容を捉えている。	93.2	
	計画的に話し合い、考えを広げたりまとめるための工夫を捉えている。	78.7	
	互いの立場を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げている。	74.1	
漢字を読む	第5学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	95.7	
		98.2	
漢字を書く	第4学年に配当されている漢字を正しく書いている。	98.5	
		56.0	
言葉の学習	漢字の由来について理解している。	84.1	
	連用修飾語について理解している。	54.8	
	敬語について理解し、正しく使っている。	32.3	
	思考に関わる語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	71.2	
	文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使っている。	92.8	
物語の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	47.1	
	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	60.7	
説明文の内容を読み取る	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	81.8	
	文章全体の構成を捉えている。	72.4	
学級新聞の記事を書く	目的に応じて、文章の情報を整理している。	66.6	
	情報と情報との関係について理解している。	64.2	
文章を書く	目的に応じて、文章を簡単にまとめて書いている。	72.2	
	目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。	65.8	
	文章全体の構成や展開を考えている。	47.7	
	資料から読み取った事実を書いている。	59.4	
	事実を基に自分の意見を明確に書いている。	59.4	
		70.8	
		66.6	

連用修飾語についての理解に課題がある。指導にあたっては、文を構成する語句に着目させ、「何を」や「いつ・どこで・どのように」などに当たる語句と、「～する」などに当たる語句との関係を明確にし、文の中での語句と語句の係り方について理解させていくことが重要である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 □誤答計 ■無解答
整数のなかま分け	偶数について理解している。	85.3	
	最大公約数について理解し、それを求めることができる。	78.0	
	最小公倍数を適用して問題を解決している。	51.8	
分数と小数	小数を分数の形に直すことができる。	82.6	
	整数÷整数の商を分数で表すことができる。	54.5	
小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第一位(純小数同士の乗法)の計算ができる。	58.0	
	小数第一位×小数第二位の計算ができる。	53.3	
	小数第二位÷小数第一位=小数第一位の計算ができる。	63.4	
分数のたし算・ひき算	真分数+真分数=真分数で、分母どうしをかける通分をする計算ができる。	76.6	
	帯分数-真分数=真分数で、片方の分母にそろえる通分をする計算(約分あり)ができる。	61.2	
小数のかけ算・わり算	小数の乗法と除法において、乗数による被乗数と積、除数による被除数と商の大小関係を理解している。	42.4	
小数のかけ算・わり算	図を見て、小数倍の文章問題(何倍かを求める)を解くために除法の立式をしている。	46.3	
小数のかけ算・わり算	図を見て、小数倍の文章問題(何倍かを求める)を解くために除法の立式をしている。	79.0	
小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第一位の乗法の式に合った文章問題を選んでいる。	79.5	
小数のかけ算・わり算	小数の除法(小数÷純小数)の文章問題を図に表している。	62.9	
	図を使って、小数の除法の文章問題に合った式を選んでいる。	59.2	
体積	立方体の体積を求める式を理解している。	47.3	
	直方体を組み合わせた形の体積の求め方の図にあった式を選んでいる。	77.6	
図形の角	四角形の4つの角の和を理解し、3つの角の大きさから残りの角の大きさを求めることができる。	57.7	
合同	既習の四角形について、対角線で分割した三角形を合同の観点でとらえ直している。	79.6	
合同	3辺の長さを使って、合同な三角形を作図することができる。	80.7	
単位置あたりの大きさ、比例	比例の関係を理解し、一方の値に対応する他方の値を求めることができる。	86.2	
平均	値に0があり、答えが小数になる分離量の平均を求めることができる。	80.9	
	平均から全体の量を推測することができる。	35.6	
単位置あたりの大きさ、比例	2つの町の1kmあたりの人数(人口密度)をそれぞれ求めて、どちらの町の方が広いのかを説明している。	45.9	
図形の角	人口密度と面積から、ある町の人口を求めることができる。	10.2	
図形の角	三角形の3つの角の大きさの和を理解し、二等辺三角形の性質から角の大きさを求めることができる。	51.5	
合同	合同な三角形の、対応する角について理解している。	71.6	
図形の角	しきつめ模様から六角形を見出し、その六角形の角の大きさの和の求め方を説明している。	19.6	

異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方についての理解に課題がある。指導にあたっては、数量の関係を表した式を形式的に記憶し、活用するのではなく、一つの量だけでは比較することができない事象に対して、どのようにすると比べることができるのかを考えたり、数値化することができるのかを考えたりすることが大切である。

才 第6学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 □誤答計 ■無解答
インタビューの内容を聞き取る	話の内容を捉えている。	88.7	
	意図に応じて、質問を工夫している。	83.2	
	自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。	97.6	
漢字を読む	第6学年に担当されている漢字を正しく読んでいる。	97.5	
		86.8	
漢字を書く	第5学年に担当されている漢字を正しく書いている。	95.1	
		35.8	
言葉の学習	三字の熟語の成り立ちについて理解している。	53.3	
	文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使っている。	82.9	
	語句の由来に関心を持ち、和語、漢語、外来語について理解している。	54.4	
	文と文との接続の関係を理解している。	55.0	
物語の内容を読み取る	敬語について理解し、正しく使っている。	42.2	
	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	85.7	
	表現の効果について、考えている。	66.8	
説明文の内容を読み取る	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	74.7	
	叙述を基に文章の内容を捉えている。	71.9	
	文章全体の構成を捉えている。	47.1	
レポートを書く	目的に応じて、文章の情報を整理している。	64.4	
	情報と情報との関係について理解している。	73.1	
文章を書く	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文章を整えている。	32.6	
	目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。	66.0	
	文章全体の構成や展開を考えている。	63.4	
	自分の意見とその理由を明確にして書いている。	78.0	
	予想される反論とそれに対する意見を書いている。	54.1	

文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文章を整えることに課題がある。指導にあたっては、文章全体の内容や表現に一貫性があるか、目的や意図に照らして適切な構成や記述になっているか、事実と感想、意見とが区別して書かれているか、引用の仕方、図表やグラフなどの用い方は適切かといった推敲の観点を明確にすることが重要である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 □誤答計 ■無解答
分数のかけ算・わり算	逆数について理解している。	78.5	
	分数の乗数、除数の大きさから、積、商と被乗数、被除数の大小を判断することができる。	53.4	
分数のかけ算・わり算	真分数×整数(約分なし)の計算ができる。	88.4	
	整数×真分数(約分1回)の計算ができる。	85.8	
	真分数×真分数(約分1回)の計算ができる。	82.0	
	真分数÷仮分数(約分なし)の計算ができる。	81.0	
	真分数÷帯分数(約分2回)の計算ができる。	73.0	
	真分数÷真分数×仮分数の計算ができる。	71.3	
分数のかけ算・わり算	基準量が分数の場合において、分数倍の比較量を求めることができる。	67.6	
	比較量、基準量が分数の場合において、比較量が基準量の何倍になるかを求める式を選ぶことができる。	55.4	
分数のかけ算・わり算	分数の除法の文章問題にあった図を選ぶことができる。	85.1	
	分数の除法の文章問題にあった式を選ぶことができる。	43.1	
文字と式	文字を使って、2つの数量の関係を1つの式に表している。	70.1	
	2つの文字を使って表された式を使って問題を解くことができる。	84.5	
文字と式	文字を使った式が表す場面を選んでいる。	57.5	
	直径が与えられた円の面積を求める式を理解している。	88.7	
面積と体積	角柱の体積を求めることができる。	71.2	
	円と正方形を組み合わせた図形の面積の求め方を示した図から、その求め方に合う式を選んでいる。	72.6	
拡大図と縮図	図形の拡大図について理解している。	94.8	
	拡大図の性質を理解し、線分の長さを求めることができる。	42.3	
対称な形	点対称な図形の対応する辺について理解している。	85.5	
	線対称な図形について理解し、作図することができる。	92.0	
比と比の値	等しい比について理解している。	56.1	
	比の値について理解している。	55.8	
分数のかけ算・わり算	比を使って、全体の量から一方の量を求めている。	48.8	
	分数の計算でも、分配法則が成り立つことを理解している。	59.3	
	分数のかけ算を用いて、Aのペンキでぬれる面積を求めることができる。	63.8	
対称な形	分数のわり算を用いて、どちらのペンキの方がぬれる面積が大きいかを説明している。	25.3	
	点対称な図形の性質を使って、長さを求めている。	86.7	
拡大図と縮図	縮図を使って地面から2階のベランダの手すりまでの実際の高さを求め、その求め方を式を使って説明している。	19.6	

図形の性質を具体的な場面に生かすことに課題がある。縮図や拡大図の指導にあたっては、対応する角の大きさが全て等しく、対応する辺の長さの比がどこも一定であることを活用して、日常生活の問題解決に生かしていけるようにすることが大切である。その際、縮図や拡大図が、日常生活のどのようところで、どのように活用されているかを探る活動を設定し、日常生活の場面を図形の視点から捉えることができるようにすることも重要である。

(2) 中学校
ア 第1学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 □ 誤答計 ■ 無解答
話し合いの内容を聞き取る	必要に応じて記録しながら話の内容を捉えている。	35.8	
	自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている。	65.3	
漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	76.1	
		88.7	
漢字を書く		99.0	
	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	99.0	
文法・語句に関する事項	単語について理解している。	36.9	
	漢字の部首について理解している。	52.1	
	歴史的仮名遣いについて理解している。	82.6	
説明的な文章の内容を読み取る	文章の内容について叙述を基に捉えている。	65.2	
	目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。	67.7	
文学的な文章の内容を読み取る	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。	60.2	
	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	62.2	
調べたことをもとにレポートを書く	表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	34.8	
	情報の整理の仕方について理解を深め、それを使っている。	61.5	
文章を書く	読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見だしている。	69.3	
	目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。	64.0	
	書く内容の中心が明確になるように、文章の構成や展開を考えている。	69.7	
	自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	84.6	
		64.1	
		58.6	
		52.3	
		51.4	
		44.8	
		49.3	

目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈することについて課題がある。指導にあたっては、目的を明確にした上で要約に取り組むようにするとともに、要約したものが目的に沿っているかどうかを考え、必要な情報を正確に捉えて要約できるようにすることが重要である。

【数学】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 □ 誤答計 ■ 無解答
正の数・負の数	負の数の大小関係について理解している。	52.0	
	絶対値について理解している。	69.3	
正の数・負の数	基準をもとに、正負の数を使って利用者数の差を求める式を選ぶことができる。	47.3	
正の数・負の数	素因数分解について理解している。	52.1	
	正負の数の減法ができる。	79.0	
正の数・負の数	正負の数の除法ができる。	90.0	
	累乗を含む正負の数の乗法ができる。	73.2	
文字式	1次式の加法ができる。	56.2	
文字式	文字式の表し方を理解している。	49.3	
	数量の関係を不等式で表すことができる。	79.8	
1次方程式	1次方程式の等式の性質について理解している。	76.0	
1次方程式	簡単な1次方程式を解くことができる。	72.0	
	分数を含む1次方程式を解くことができる。	38.4	
1次方程式	比例式を解くことができる。	43.3	
1次方程式	具体的な事象における数量の関係をとらえ、その関係を比例式で表すことができる。	72.8	
	座標平面上の点の座標について理解している。	84.6	
比例・反比例	反比例の表から、 $y=x$ の式で表すことができる。	69.1	
	比例の関係にある1組の x と y の値から、 $y=x$ の式で表すことができる。	41.9	
比例・反比例	反比例の関係にある1組の x と y の値から、別の x の値に対応した y の値を求めることができる。	49.7	
	比例の式から、そのグラフをかくことができる。	47.8	
比例・反比例	具体的な事象とグラフを関連付けて読み取り、進む速さが2番目に速い子どもを表したグラフを選ぶことができる。	76.1	
比例・反比例	具体的な事象の数量関係が反比例であることをもとに、歯車の回転数を求めることができる。	46.8	
	垂直な2直線の関係を表す記号について理解している。	83.8	
平面図形	平行移動だけで重ね合わせることができる三角形を選ぶことができる。	74.8	
	三角形を回転移動させた角度について理解している。	66.9	
平面図形	三角形を対称移動させたときの図形をかくことができる。	59.7	
文字式	与えられた情報から必要な情報を適切に読み取り、処理することができる。	84.5	
1次方程式	事柄を適切に判断し、その事柄が成り立たない理由を数学的な表現を用いて説明することができる。	31.0	
比例・反比例	事象における数量の関係が比例であることを判断し、それをもとに数量の関係を考察することができる。	12.1	
	事象を数学的に解釈し、1枚の重さの違いによる合計の枚数の差を求める方法を数学的に説明することができる。	8.4	

比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することに課題がある。指導にあたっては、具体的な事象を式で表し、それらが比例、反比例であるかどうかを判断したり、具体的な事象を比例、反比例とみなすことによって問題を解決したりする活動を設定することが重要である。なお、活動を行う際は、判断の根拠や解法を説明することができるようにすることが大切である。

【英語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 □誤答計 ■無解答
リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(イタがある場所)	74.8	
	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(持っているもの)	58.6	
	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(動作と曜日)	71.3	
リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、その内容を理解して、適切に回答している。(一緒に野球をしようと言われて)	54.2	
	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に回答している。(そこで何をするかとたずねられて)	70.9	
	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に回答している。(平仮名を読むことができるかとたずねられて)	52.6	
リスニング(対話文の応答)	日常的な話題について聞き、必要な情報を把握している。	62.9	
リスニング(対話文の応答)	対話から必要な情報を聞き取り、資料をもとに英語で答えている。	18.1	
リスニング(対話文の応答)	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(一般動詞の三人称単数現在形)	18.0	
語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(be動詞の疑問文)	75.4	
	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(疑問詞who)	83.7	
	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(代名詞(目的格))	73.1	
語彙の知識・理解	英文を読み、その内容に合う適切な語を選択している。	82.8	
	対話文を読み、その内容に合う適切な語を選択している。	70.4	
	英文を読み、必要な情報を把握して適切なチケットを選んでいる。	47.4	
さまざまな英文の読み取り	メールの要点を把握し、相手の意向に適切に対応している。	61.3	
	対話を読み、対話の流れと商品一覧から、必要な情報を把握して文脈に対応した内容を判断している。	31.6	
	スピーチを読み、代名詞itの内容を理解している。	58.9	
長文の読み取り	スピーチを読み、その内容を理解している。	71.9	
	スピーチを読み、その内容を理解している。	68.9	
	スピーチを読み、その要点を捉えている。	76.1	
	スピーチを読み、その概要を捉えて、コメントの文章を完成させている。	57.0	
単語の並びかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(be動詞の疑問文)	48.5	
	文の語順を理解し、正確に書いている。(whichの疑問文)	62.1	
	文の語順を理解し、正確に書いている。(冠詞+形容詞+名詞)	81.5	
場面に応じて書く英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(否定の命令文)	29.6	
	対話の流れに合った英文を書いている。(whoseを使って所有者をたずねる)	25.9	
	対話の流れに合った英文を書いている。(whatを使って好きなスポーツをたずねる)	36.2	
3文以上の英作文	週末にすることについて、相手に伝えるように書いている。	55.4	
	週末にすることについて、その理由や説明を、相手に伝えるように書いている。	38.6	
	週末にすることについて、まとまりのある文章を、相手に伝えるように書いている。	28.9	

対話を聞き、必要な情報を聞き取ることや、対話文を読み、文構造や文法事項を理解することに課題がある。指導にあたっては、相手から聞き取った情報等について、その情報をもとに適切な語順や語形変化を用いて英文を書く等、領域を統合した活動を行うことが重要である。

イ 第2学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 □誤答計 ■無解答
発表の内容を聞き取る	論理の展開に注意して、話し手の考えを聞いている。	79.9	
	自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫している。	86.2	
	自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫している。	42.0	
漢字を読む	第2学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	98.3	
	第2学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	99.2	
	第2学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	95.3	
漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	82.5	
	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	90.4	
	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	86.5	
文法・語句に関する事項	現代語訳を手掛かりに古典を読んでいる。	54.6	
	行書の特徴について理解している。	40.1	
	文の成分について理解している。	59.2	
説明的な文章の内容を読み取る	文章全体と部分との関係に注意しながら内容を捉えている。	75.4	
	文章の構成や論理の展開について考えている。	70.2	
	目的に応じて複数の情報を整理しながら内容を解釈している。	70.2	
文学的な文章の内容を読み取る	登場人物の言動の意味について考えて、内容を解釈している。	86.5	
	文章の表現の効果について考えている。	76.8	
	文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深めている。	82.7	
調べたことをもとにレポートを書く	情報と情報との関係について理解している。	65.5	
	読み手の立場に立って、文章を整えている。	66.9	
	読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	39.2	
文章を書く	目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。	62.5	
	文章の構成や展開を工夫している。	60.9	
	文章の構成や展開を工夫している。	60.5	
	自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	59.1	

読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだすことに課題がある。指導にあたっては、書き手が目的と意図に応じてどのような表現の工夫をし、それはどのような効果があったかなどについて検討することや、どのように改善するとよいかなど、自分の書く活動へ生かす具体的な視点を得させることが重要である。

【数学】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 □誤答計 ■無解答
式の計算	2つの文字を含む式について、式を簡単にしてから数を代入して式の値を求めることができる。	77.4	
式の計算	等式を変形して、式のある文字について解くことができる。	65.8	
式の計算	多項式の同類項をまとめる計算ができる。	66.1	
式の計算	単項式の乗法と除法ができる。	60.2	
式の計算	分数を含む多項式の計算ができる。	53.5	
連立方程式	加減法の原理を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	75.7	
連立方程式	代入法の原理を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	64.9	
連立方程式	$A=B=C$ の形の方程式を解くことができる。	56.0	
連立方程式	与えられた文章問題に対して、適切な連立方程式を立式することができる。	40.1	
連立方程式	連立方程式を利用して、文章問題を解くことができる。	40.7	
1次関数	1次関数の関係を表す表から、傾きや切片の値の正負を判断し、正しいグラフを選ぶことができる。	71.5	
1次関数	示された1次関数の変化の割合から、 x の値に対応する y の値を求めることができる。	25.3	
1次関数	1次関数の式から、グラフをかくことができる。	62.4	
1次関数	1次関数の式について、 x の増加量から y の増加量を求めることができる。	62.6	
1次関数	2点の座標から、1次関数の式を求めることができる。	57.8	
1次関数	ある直線に平行であることと、1点の座標から1次関数の式を求めることができる。	59.4	
1次関数	x 軸に平行な直線の式を選ぶことができる。	44.5	
1次関数	2つの1次関数のグラフの交点の座標を求めることができる。	47.3	
1次関数	水そうに水を入れる時間と水の深さとの関係をグラフに表し、2つの水そうの水の深さが同じになる時間を求めることができる。	56.5	
1次関数	ある1次関数のグラフと x 軸、 y 軸との交点からできる三角形について、面積を求めることができる。	39.5	
図形の性質	図から同位角や錯角について正しく説明しているものを選ぶことができる。	67.9	
図形の性質	平行線と同位角、錯角の関係や三角形の内角、外角の性質について理解し、角の大きさを求めることができる。	72.1	
図形の性質	多角形の外角の和について理解し、角の大きさを求めることができる。	60.5	
証明	証明の必要性和意味を理解し、正しい説明を選ぶことができる。	61.3	
証明	仮定の指す内容について理解している。	63.4	
証明	三角形の合同条件について理解している。	73.5	
式の計算	与えられた問題を理解し、「3けたの数から、各位の数の和を引いた差」を求めることができる。	42.5	
式の計算	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。	16.5	
1次関数	かかる費用の求め方を理解し、必要な長さのリボンを購入するときの費用を求めることができる。	47.7	
1次関数	「手芸用品店Aがもっとも安くなる」ときの「ある長さ」を、グラフから読み取る方法について説明することができる。	7.1	

一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することに課題がある。指導にあたっては、第1学年の比例、反比例の学習を想起させながら、一次関数の特徴を表、式、グラフで捉えるとともに、それらを相互に関連付けることで、一次関数についての理解を深めていくことが重要である。

【英語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 □誤答計 ■無解答
リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(絵を表す動詞と過去進行形)	81.3	
	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(行った場所とその目的)	66.8	
	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(be going toの文と曜日)	91.8	
リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、その内容を理解して、適切に応答している。(これを見てと言われて)	85.9	
	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に応答している。(察しこけなかった理由を聞いて)	72.7	
	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に答えている。日曜日かどうかとたずねられて	49.4	
リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題についての英文を聞き、要点を捉えている。	66.5	
リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題についての英文を聞き、必要な情報を把握している。	87.5	
リスニング(対話文の応答)	英文を聞き、その要点を捉えて、自分の考えを英文で答えている。	26.2	
語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(be動詞の過去形)	79.1	
	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(SVCの文(look))	62.7	
	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(There wereではじまる肯定文)	49.9	
語彙の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(不定詞の副詞的用法)	62.0	
	対話文を読み、その内容に合う適切な語を選択している。	74.4	
	対話文を読み、その内容に合う適切な語を選択している。	81.9	
さまざまな英文の読み取り	英文を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいる。	42.8	
	英文を読み、その内容を理解して、適切な場所を選んでいる。	51.9	
	対話を読み、対話の流れと資料から、文脈に合った語句を判断している。	47.1	
長文の読み取り	対話を読み、対話の流れと資料から、適切な内容を判断している。	39.9	
	スピーチを読み、代名詞thatが指す内容を理解している。	68.6	
	スピーチを読み、その内容を理解している。	45.8	
単語の並べかえによる英作文	スピーチを読み、その要点を把握している。	76.4	
	スピーチを読み、話し手の質問に対する自分の考えとその理由を書いている。	52.0	
	文の語順を理解し、正確に書いている。(現在進行形の疑問文)	46.2	
場面に応じて書く英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(疑問詞whichの文)	25.5	
	文の語順を理解し、正確に書いている。(SVOC(give)の文)	67.3	
	文の語順を理解し、正確に書いている。(不定詞の形容詞的用法)	31.8	
3文以上の英作文	対話の流れに合った英文を書いている。(willを用いた疑問文を使って意思をたずねる)	25.2	
	対話の流れに合った英文を書いている。(whereを使って場所をたずねる)	25.7	
	3年生になつたらしたいことについて、相手に伝えるように書いている。	40.7	
3文以上の英作文	3年生になつたらしたいことについて、その理由や説明を、相手に伝えるように書いている。	36.3	
	3年生になつたらしたいことについて、まとまりのある文章を、相手に伝えるように書いている。	27.3	

対話を読み、場面に応じて対話の流れに合った英文を書くことや、適切な疑問文を用いて相手に尋ねる英文を書くことに課題がある。指導にあたっては、コミュニケーションにおける、目的・場面・状況を明確にした言語活動を設定するとともに、正しい語順や文構造を理解しているかを確認するために、英文を書いて伝える活動を取り入れることが重要である。

IV まとめ

(1) 成果

小学校では、国語における「言葉の特徴や使い方」、算数における「数と計算」などの「知識・技能」の観点において、正答率が高い。このことは、各校で作成されている「学力向上プラン」において、学力向上のための授業改善策として、少人数指導や習熟度別指導などの個の実態に応じた学習形態の工夫や、一部教科の教科担任制などに継続的に取り組んできた成果であると考えられる。

中学校では、国語、数学、英語のどの教科においても「知識・技能」の観点において正答率が高く、学力向上プランに基づいた授業改善や、個別最適な学びや協働的な学びを軸とした、主体的・対話的で深い学びの実践が進められていると考えられる。

(2) 課題

小学校の国語や、中学校の国語、英語における「書くこと」の領域に課題が見られる。

国語の「書くこと」においては、授業の中で、伝えたい目的や相手に応じ、事実と意見を区別して構成を考え、根拠を明確にして自分の考えを書く活動を繰り返し行うことが重要であると考えられる。また、中学校における英語の「書くこと」においては、語句や文法を適切に活用し、事実や自分の考えを、論理的な構成で正しく伝えられるよう指導することが重要であると考えられる。

(3) 今後の取組

ア 学力調査結果の効果的な活用

各校では、学力調査結果を基に、児童生徒一人一人の課題を的確に把握するとともに、学力調査分析結果を効果的に活用するなど、よりきめ細やかな指導が実施できるよう授業改善を行う。

上尾市教育委員会では、学力調査結果から焦点化された課題について、具体的かつ効果的な取組が行われるよう、「学力向上プラン」の内容について精査する。さらに、学校訪問や研修会等を通じて、各校で作成された「学力向上プラン」を踏まえ、教員一人一人が学習指導の工夫・改善を図ることができるよう積極的に支援を行っていく。

イ 「学力向上プラン」を軸としたCAPDサイクルの確立

4月及び5月に実施される国や県の学力・学習状況調査と、12月及び1月に実施される上尾市の学力調査のそれぞれの結果に基づき、各校で作成されている「学力向上プラン」の見直しを年2回行う。定期的に「学力向上プラン」を見直すことで児童生徒の状況を的確に把握し、教育課程の編成や学習指導の工夫、改善を行うなど、課題に対して早期に改善策を講じることができるようにする。



Check	上尾市学力調査結果から、各学年の学習内容の定着の様子や取組の成果を分析する。
Act	各学年で取り組むべき課題を焦点化し、年度内に手立てを講じる。
Plan	授業改善の視点や具体的な手立てを検討し、4月から実施するプランを作成する。
Do	「学力向上プラン」に基づき、授業改善と学力向上の取組を実施する。
Check	国・県の学力調査で、自校の課題や学力の伸びを分析する。
Act	問題を解くために求められる力や学力の伸ばした取組を把握する。
Plan	学力を伸ばす手立てを検討し、10月から実施するプランを作成する。
Do	「学力向上プラン」に基づき、授業改善と学力向上の取組を実施する。